

平成21年6月3日

堺市  
西日本旅客鉄道株式会社  
南海電気鉄道株式会社  
阪堺電気軌道株式会社

## 「堺 eco 観光」スタート

堺市、JR西日本、南海電鉄、阪堺電気軌道は連携し、鉄道と散策・サイクリングに着目した、「環境モデル都市・堺」にふさわしい観光を推進する取組みを、6月4日から順次開始します。

### 【コンセプト】

地球環境に優しい交通機関である「鉄道」と、環境モデル都市である「堺市」が連携。鉄道と散策・サイクリングを組み合わせた「堺 eco 観光」を推進します。

複数の鉄道路線が南北に平行して「縦走」という堺市の交通特性を活かし、市内の異なる路線間を「横断」する観光を、鉄道事業者間の連携により推進します。

行政の「着地整備機能」と、鉄道事業者の「情報発信機能」との連携を基軸にしつつ、旅行会社との連携も図ります。

### 1. 散策またはサイクリングを意識した市内観光のルート化

堺が歴史上脚光を浴びた二つの時代を切り口に、JRと南海の駅を起点に、徒歩または自転車で横断するような新たなルート作りを行い、今後、重点化してPRします。

- ・ 散策コース（古代編）：（JR）堺市駅～（南海）中百舌鳥駅
- ・ 散策コース（中近世編）：（南海）七道駅～（JR）百舌鳥駅
- ・ サイクリングコース：（南海）堺駅～（JR）百舌鳥駅

サイクリングコースは、上記二つの散策コースの主な見所を一度に巡ります。

### 2. 「駅から eco マップ」の作成・常置

- ・ 上記の散策コースを基に「駅から eco マップ」を作成し、各コースの発着駅及び主な駅に常置します（【JR西日本】堺市駅、百舌鳥駅、大阪駅、天王寺駅、和歌山駅等、【南海電鉄】七道駅、中百舌鳥駅、堺駅、難波駅等）。
- ・ サイクリングコースの結節点となる大仙公園観光案内所を始めとする堺市内の観光案内所にも常置するほか、仁徳陵古墳の定点ガイドも同マップを配布します。

### 3. 定点ガイドの充実

- ・ 現在、堺市内3箇所で行われている「定点ガイド」の配置場所を、散策ルート上の他の2箇所にも拡大します。  
平成21年6月～ 南宗寺、平成21年10月～ 山口家住宅
- ・ 堺市博物館の協力により、定点ガイドの解説内容をブラッシュアップします。

### 4. 堺市の観光素材の魅力付け

- ・ 地元産業に着目した、堺ならではの新品開発に取り組みます。  
第一弾として、「堺 香発祥(線香)」、「ペーパーナイフA型、台所小庖丁(打刃物)」、「堺土産ワイン・コンペイ(金平糖)」という新品を発売開始します。
- ・ 「駅から eco マップ」をお持ちのお客様に対する割引等の特典をご用意します。  
観光レンタサイクル(300円 240円)、「茶室・伸庵」での呈茶(300円 240円)、自転車博物館入館料(300円 240円)、南宗寺拝観料(400円 300円)、妙國寺拝観料(400円 300円)
- ・ 春と秋には期間限定で、散策ルート上にある施設での特別公開を実施し、さらなる魅力付けを図ります。
- ・ 自転車の増車など観光レンタサイクルの利便性向上を図ります。

### 5. 旅行会社向けの素材開発

- ・ 旅行会社を通じてお申し込みのあった団体に対し、堺市博物館において、新たな企画を実施します。  
(企画例) 博物館スタッフ等による館内エスコートなど

### 6. 告知の連携

- ・ 「堺 eco 観光」ポスターを、堺市の公共施設、JR西日本・南海電鉄・阪堺電気軌道の駅等に掲出(【JR西日本】大阪駅、京都駅、三ノ宮駅、岡山駅、広島駅、博多駅等、【南海電鉄】難波駅等)し、そのPRを開始します。
- ・ 「堺 eco 観光」に係る具体的な取組みを、堺市、JR西日本、南海電鉄、阪堺電気軌道の持つ各々の媒体で情報発信します。

### 7. 今後の取組みの発展・継続

- ・ 今後、体験素材や産業観光など、新たな切り口の着地整備についても、連携して検討してまいります。